

みんなの社プリ～教科書太字の確認～ No.8

中世の日本 武士の台頭と鎌倉幕府

<武士の政権の成立>

- (1) 位をゆずった天皇が上皇となってからも続けて行った政治。
- (2) 院政を始めた人物。
- (3) 上皇が政治を行った住居。
- (4) 自分たちの主張を通すために、武装して集団で朝廷に訴えるようになった、大寺院などの僧。
- (5) 1156年に京都で起きた、天皇側と上皇側の内乱。
- (6) 1159年に京都で起きた、藤原氏内の対立に平氏と源氏が加わった内乱。
- (7) 武士として初めて、朝廷の政治の実権をにぎった人物。
- (8) 平清盛が就いた、朝廷の最高の官職。
- (9) 平清盛が、兵庫の港を整備して始めた貿易の相手国。
- (10) 航海の安全を守るために、平氏がたびたび参詣した神社。
- (11) 1180年、平氏をたおすために兵をあげ、鎌倉を本拠地にした人物。
- (12) 源頼朝の弟で、1185年に平氏をほろぼした人物。
- (13) 源義経が平氏をほろぼした戦い。
- (14) 国ごとに置かれた、国内の軍事・警察や御家人の統率を行う役職。
- (15) 荘園や公領ごとに置かれた、年貢の取り立てや警備を行う役職。
- (16) 1192年に、源頼朝が任命された役職。
- (17) 源頼朝が鎌倉に開いた、武士による政権。
- (18) 鎌倉幕府による政治が続いた、約150年間の時代。
- (19) 将軍と主従関係を結んだ武士。
- (20) 将軍が配下の武士の領地を保護したり、新しい領地をあたえたりしたこと。
- (21) 武士が将軍のために、京都や鎌倉の警備をしたり、軍役を果たしたりしたこと。
- (22) 北条氏が代々就いた、将軍の補佐役をになう地位。
- (23) 北条氏が、(22)の地位を独占して行った政治。
- (24) 1221年に倒幕の兵を挙げた後鳥羽上皇が敗れ、隠岐に流されることになった戦い。
- (25) 承久の乱の後に京都に置かれた、京都の警備や朝廷の監視を行う役所。
- (26) 承久の乱のときに、頼朝の御恩を訴えた演説を行った女性。
- (27) 武士の慣習に基づいて、1232年に定められた法律。
- (28) 御成敗式目〔貞永式目〕を定めた人物。
- (29) 北条泰時が制度化した、幕府の会議。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	
(11)	
(12)	
(13)	
(14)	
(15)	
(16)	
(17)	
(18)	
(19)	
(20)	
(21)	
(22)	
(23)	
(24)	
(25)	
(26)	
(27)	
(28)	
(29)	